

大阪開催が決定！テキストとして新刊を進呈、金型の疑問にお応えします！

第263回ゴム技術シンポジウム

ゴム技術者に役立つゴム金型技術 ～現場の問題点と解決策～

主 催 : 一般社団法人日本ゴム協会研究部会 金型研究分科会
協 賛 : 日本金型工業会、日本合成樹脂技術協会、日本塑性加工学会
(予定) プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本接着学会 (順不同)

金型研究分科会では、金型加硫成形を取りあげ、その課題解決策を示した「ゴム・エラストマー用金型技術 Q&A」を2006年に発刊し好評を得ましたが、廃刊したため新たな出版を望む声がありました。金型技術の発展・継承を考え、質問項目(Q)を85件から125件に増やし、内容の充実を図った新たに「ゴム金型技術 Q&A」を出版いたしました。6月に東京、9月に久留米で開催でしたゴム技術シンポジウムにて新刊を紹介し、多くの方にご参加いただきました。今回は、同じ内容を大阪で開催することといたしました。ゴムの流動挙動、シミュレーション、金型の設計、金型の製作などの課題について、著者が講師となって開催します。是非ご参加ください。

日 時 : 2019年12月3日(火) 10:00~16:30

会 場 : 大阪市立大学文化交流センター ホール (大阪市北区梅田1-2-2-600)

受 講 料 : 日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 5,500円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 12,100円 (60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・書籍(テキスト)代を含みます。

テキスト : 当日、新刊の「ゴム金型技術 Q&A」を配付いたします。

申込方法 : 弊会ホームページ (<http://www.srij.or.jp/>) よりお申し込みください (定員110名)。

送金方法 : 銀行振込 (三井住友銀行 日比谷支店 普通 7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問 合 先 : 一般社団法人日本ゴム協会 第263回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

TEL : 03(3401)2957 FAX : 03(3401)4143 E-mail : kenkyuubukai@srij.or.jp

10:00~10:05 開会のあいさつ 金型研究分科会主査 山口 幸一

【座長】ヘイシンテクノベルク(株) 澤田 一彦

10:05~11:25 金型の概要とゴムの成形挙動 西沢技術研究所 西澤 仁氏
金型の概要と金型技術の現状と今後の課題を説明し、金型成形加硫におけるゴムの流動と加硫挙動について述べる。

11:30~12:10 金型および成形シミュレーション ㈱平泉洋行 谷田部 豊将氏
製品に対する性能及び品質向上の要求に対して、近年実用レベルで成果が出ているゴムの射出成形シミュレーションについて概要を解説すると共に、最新の金型シミュレーション事例を紹介する。

【座長】㈱平泉洋行 谷田部 豊将

13:10~14:30 金型の設計(材料、表面処理含め) 元・豊田合成(株) 上嶋 桂二氏
ゴム金型の適確な設計を進めるうえで役立つと思われる様々な知見について、テキストとする書籍に沿い、疑問に答える形で金型の各機能に分け解説する(ランナー・ゲート、歩留り向上、バリなし化、エア抜き、効率的加熱、離型など)。

14:30~15:10 金型の製作 ヘイシンテクノベルク(株) 澤田 一彦氏
金型製作の基本から、生産性の良いコストバランスのとれた金型製作方法について説明する。

15:15~16:25 成形トラブル対策と金型汚染防止、低減化 関西ゴム技術研修所 山口 幸一氏
加硫成形工程は、ゴム製品の製造の最終工程で、形状などの良しあしが決まる重要な工程であるが、金型汚染など成形トラブルが発生することが知られている。この成形トラブルの対策について、および金型汚染で汚れた金型洗浄について述べる。

16:25~16:30 閉会のあいさつ 金型研究分科会副主査 上嶋 桂二

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。